

2017年度 第2四半期 業績概要

注意事項

- 当社は、2017年度より決算期を3月20日から2月末日に変更します。 本資料内2017年度予想値〈参考値〉は、対象期間を従前の決算期間(2017年3月21日~ 2018年3月20日)に置き換えた数値を使用しています。 (詳細は巻末 参考資料P.18を参照下さい。)
- 本資料に記載されている業績見通し等に関する将来の予測は、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまな要因により、この見通しとは異なることがあります。実際の業績等に影響を与えうる重要な要因には、当社の事業領域を取り巻く国内外の経済情勢、当社製品・サービスに対する需要動向、為替・株式市場の動向などがあります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。
- 本資料に記載の数値は四捨五入にて表示しており、決算短信など他資料と異なる場合がありますので、ご了承ください。

株式会社 安川電機 (TSE6506)

(対象期間:2017年3月21日~2017年9月20日)

© 2017 YASKAWA Electric Corporation

目次

1. 2017年度上期 連結決算

- 2017年度上期実績 (連結・セグメント別)
- 事業セグメント別売上高構成比 (16年度上期→17年度上期)
- 仕向先別売上高 / 売上高構成比 (16年度上期→17年度上期)
- 営業利益増減要因分析 (16年度上期→17年度上期)
- 2017年度7-9月期における取り組み

2. 2017年度下期・通期 連結決算見通し

- 2017年度通期 見通し (連結・セグメント別)
- 営業利益増減要因分析 (16年度→17年度計画)
- 2017年度下期における取り組み

3. 参考資料

- 決算期変更による影響額
- セグメント変更による過年度遡及
- 設備投資,研究開発費,為替状況
- B/S構造の推移
- 連結売上高·営業利益推移
- 四半期連結売上高推移
- 四半期連結受注推移
- 主要生産拠点

セグメント別事業概要

モーションコントロール

【主要製品】

- ・ACサーボモータ、コントローラ
- ・リニアサーボ
- ・インバータ

など



ACサーボ Σ-7シリーズ



ゼロシリーズ

マトリクス コンバーター U1000

ロボット

【主要製品】

- ・産業用ロボット
- アーク・スポット溶接,塗装用途向け
- FPD搬送,ハンドリング用途向け
- ・半導体製造装置用ロボット
- ・バイオ・メディカル用途向けロボット
- 人共存型ロボット

など



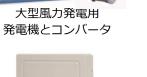
システムエンジニアリング

【主要製品】

- ・鉄鋼プラント用電機システム
- ・上下水道用電気計装システム
- ·大型風力発電用電機品
- ・太陽光発電用パワーコンディショナ など



大型風力発電用



パワーコンディショナ Enewell-SOL P2H



連続鋳造設備



上下水道用 電気計装システム

その他

【主要製品】

- ・情報関連事業
- ・物流サービス

など

1. 2017年度上期 連結決算

2017年度 上期実績(連結)

• 中国を中心とした旺盛な需要を受け、前年同期に対し大幅に 増収増益(上期実績としては過去最高)

	2017年度 上期	2016年度 上期	前年同期比		2017年度 上期
	実績	実績	<u>増減額</u>	増減率	計画
売上高	2,291億円	1,876億円	+415億円	<u>+22.1%</u>	2,285億円
営業利益	278億円	138億円	+140億円	+101.2%	282億円
経常利益	275億円	138億円	+137億円	<u>+99.6%</u>	272億円
親会社株主に帰属する 四半期純利益	211億円	86億円	+125億円	+145.0%	183億円

[注]表内「2017年度上期計画」は、2017年7月20日 1 Q決算発表時の数値

2017年度 上期実績(セグメント別)

- (M) ACサーボの中国での好調な販売により過去最高
- (R) 売上高が伸長し、収益性は大幅に改善

	2017年度 上期		2016年度 上期		前年同期比	
	実績	利益率	実績	利益率	増減額	増減率
売上高	2,291		1,876		+415	+22.1%
(M) モーションコントロール	1,104		832		+271	+32.6%
(R) ロボット	804		684		+121	+17.7%
(S) システムエンジニアリング	282		247		+35	+14.1%
その他	101	/ [114		▲ 12	▲10.8%
営業利益	278	12.1%	138	7.4%	+140	+101.2%
(M) モーションコントロール	218	19.7%	108	13.0%	+110	+101.6%
(R) ロボット	86	10.6%	56	8.2%	+30	+53.3%
(S) システムエンジニアリング	▲ 18	▲ 6.3%	1 6	▲ 6.5%	▲2	-
その他	▲1	▲0.5%	A 4	▲3.7%	+4	-
消去または全社	▲ 7	-	▲ 6	-	▲ 2	-
経常利益	275	12.0%	138	7.3%	+137	+99.6%
親会社株主に帰属する四半期純利益	211	9.2%	86	4.6%	+125	+145.0%

(単位:億円)				
度 上期				
利益率				
12.3%				
19.7%				
10.6%				
▲2.8%				
▲2.0 %				
-				
11.9%				
8.0%				

なお、2016年度上期 実績については、 セグメント区分変更後のベースで記載(詳細は巻末_参考資料を参照)

[[]注.1] 表内「2017年度上期計画」は、2017年7月20日 1Q決算発表時の数値

[[]注.2] 2017年度4-6月期より「モーションコントロール」に含めていた太陽光発電用パワーコンディショナを「システムエンジニアリング」に含める等 のセグメント区分を変更

2017年度 上期実績(セグメント別)

モーションコントロール

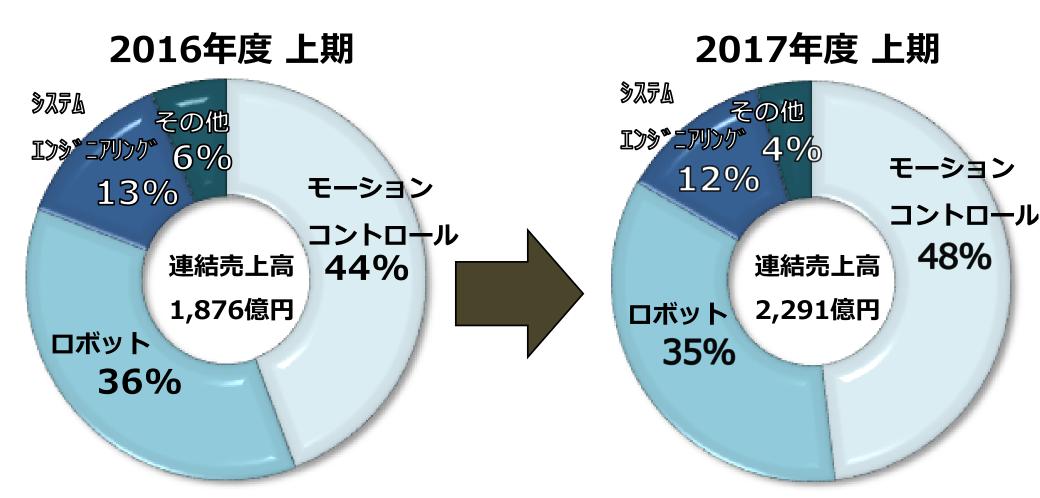
- ・ACサーボは、生産設備の自動化加速やスマートフォン関連の高需要により、 大幅な増収増益
- ・インバータは、中国のインフラ投資回復や、米国のオイル&ガス関連の需要回復 を背景に売上は伸長し、収益性も改善

ロボット

- ・自動車関連は海外を中心に堅調
- ・一般産業分野はスマートフォン・家電などの生産自動化に伴う旺盛な需要を受け、 中国を中心に拡大

システムエンジニアリング

- 鉄鋼・社会システムは堅調
- ・大型風力発電関連の売上は堅調
- ・太陽光発電用パワーコンディショナの販売低迷により収益性が悪化

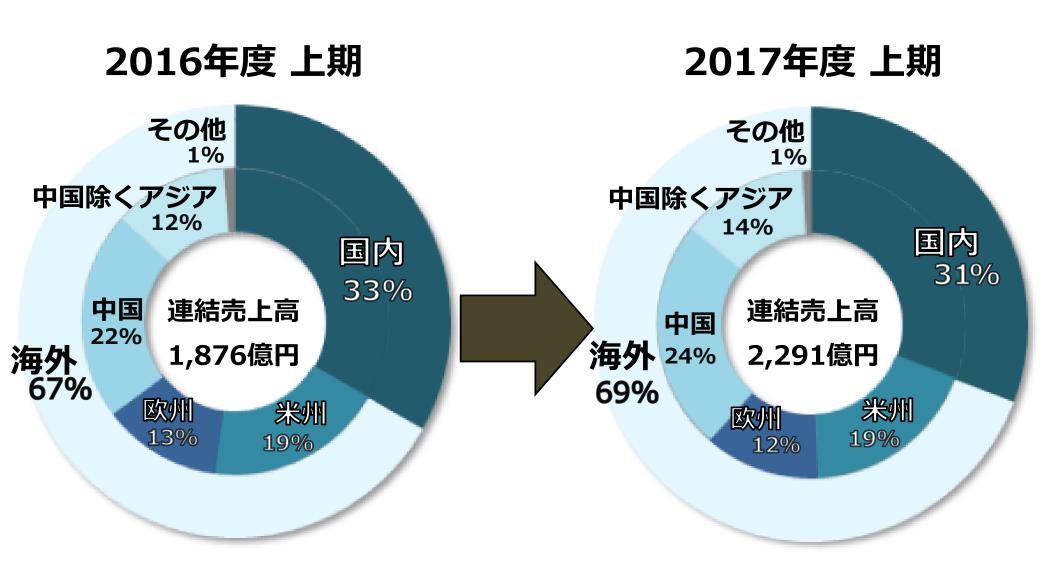


• 中国・アジアなど海外を中心に売上高が大幅に増加

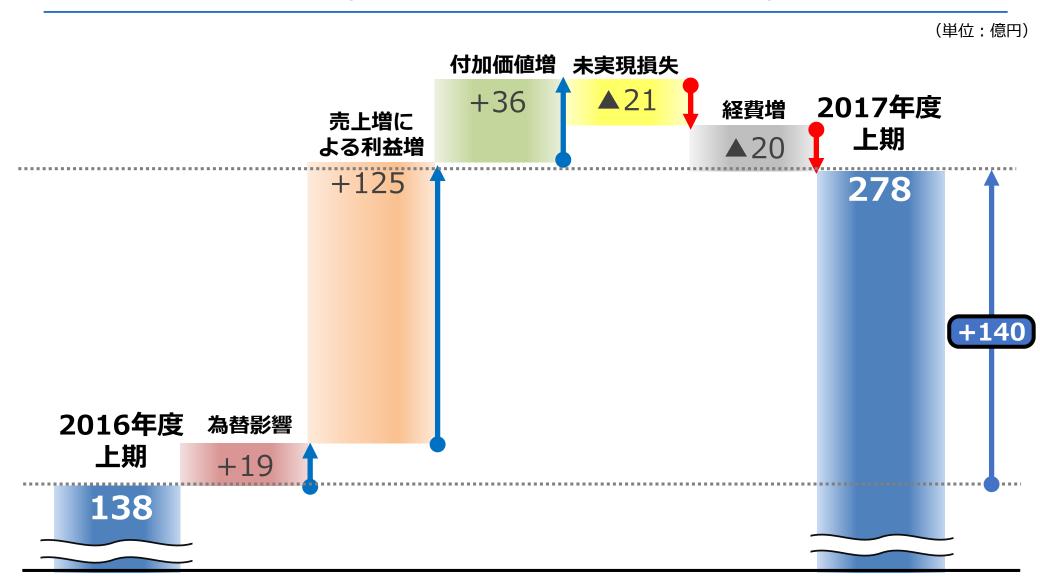
(単位:億円)

		2017年	2016年	前年	同期比	
			上期	上期	増減額	増減率
売	上高		2,291	1,876	+415	+22.1%
	国内		706	625	+81	+13.0%
	海外	•	1,586	1,252	+334	+26.7%
		米州	424	354	+69	+19.6%
		欧州	279	236	+43	+18.1%
		中国	555	415	+140	+33.9%
		中国除くアジア	309	226	+83	+36.5%
		その他	18	20	▲2	▲7.8 %

[注] その他には、南アフリカ、オーストラリア等を含む



営業利益増減要因分析(2016年度上期 → 2017年度上期)



2017年度7-9月期における取り組み

> コア事業の収益力強化

- **→** A C サーボドライブ「Σ-7」シリーズの 切り替え加速とラインアップ拡充
 - · Σ-7切替率: 17年度上期実績 62% (中国: 96%))
 - ・中空サーボモータ「SGM7Tモデル」発売 (17年9月21日)
- **→** インバータ「ゼロシリーズ」のラインアップ拡充
 - ・クレーン専用インバータ「CR700」発売 (17年8月21日)



中空サーボモータ 「SGM7Tモデル」



クレーン専用インバータ 「CR700」

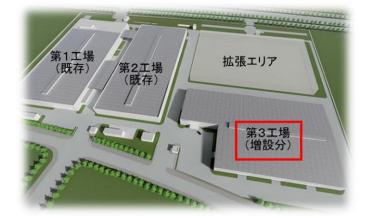
> 生産能力の拡充

- → 中国 (常州) 第3工場の増設 (2018年9月 稼働予定)
 - ・ロボットの生産能力:1,500台/月 (※既存第1・2工場生産分含む)



- → 医療,介護,福祉分野の展開
 - ・上肢リハビリ装置「CoCoroe AR2」 発売 (17年9月25日)





中国(常州)第3工場 完成イメージ

CoCoroe AR2

2.2017年度下期・通期 連結決算見通し

2017年度 通期見通し(連結)

好調な受注を背景に、売上高・利益ともに上方修正し、 過去最高を計画

	2017年度	2016年度	<u>前年同期比</u>		2017年度
	予想〈参考値〉	実績	増減額	増減率	前回計画〈参考値〉
売上高	4,660億円	3,949億円	+711億円	+18.0%	4,450億円
営業利益	570億円	304億円	+266億円	<u>+87.4%</u>	485億円
経常利益	570億円	320億円	+250億円	<u>+78.3%</u>	480億円
_{親会社株主に帰属する} 当期純利益	410億円	204億円	+206億円	+101.0%	320億円

[注.1] 2017年度予想値〈参考値〉は、対象期間を従前の決算期間(2017年3月21日~2018年3月20日)に置き換えた数値 (詳細は巻末_参考資料P.18を参照)

[注.2] 表内「2017年度 前回予想」は、2017年7月20日 1Q決算発表時の数値

2017年度 通期見通し(セグメント別)

• (M)(R)を中心に大幅な増収増益を計画

(単位:億円)

		2017	7年度	2016	5年度	前年	同期比
		予想	利益率	実績	利益率	増減額	増減率
売上記		4,660		3,949		+711	+18.0%
(M)	モーションコントロール	2,134		1,720		+413	+24.0%
(R)	ロボット	1,683		1,400		+283	+20.2%
(S)	システムエンジニアリング	625		594		+31	+5.3%
	その他	219		235		▲1 6	▲ 6.8%
営業和	li益	570	12.2%	304	7.7%	+266	+87.4%
(M)	モーションコントロール	414	19.4%	228	13.2%	+186	+81.7%
(R)	ロボット	187	11.1%	103	7.3%	+85	+82.6%
(S)	システムエンジニアリング	▲ 1 4	▲2.2%	▲ 6	▲ 1.0%	▲ 8	-
	その他	▲ 3	▲1.2%	▲ 7	▲3.1 %	+5	-
	消去または全社	▲ 15	_	▲1 3	-	▲ 2	-
経常和	 リ益	570	12.2%	320	8.1%	+250	+78.3%
親会社	仕株主に帰属する当期純利益	410	8.8%	204	5.2%	+206	+101.0%

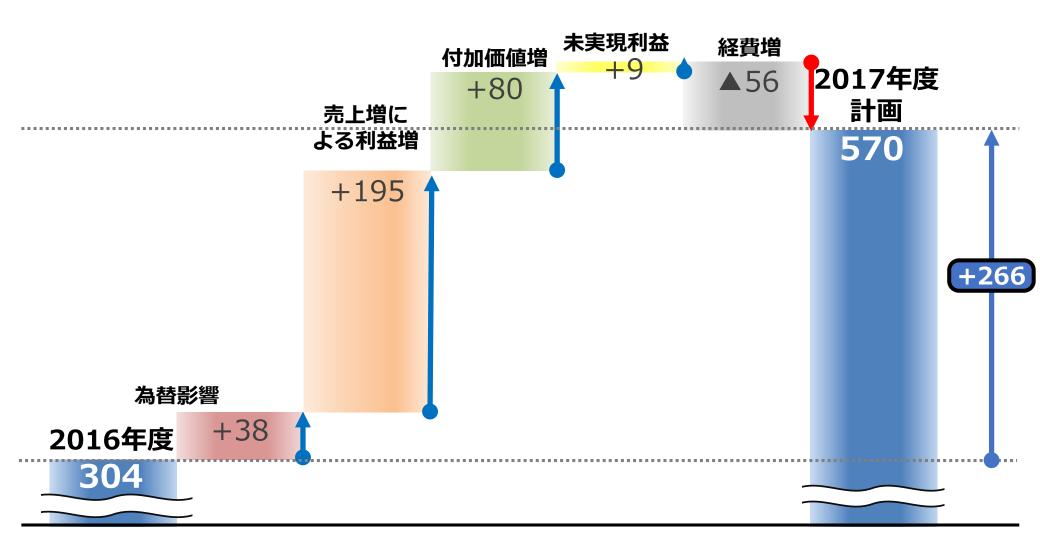
(単位:18円)					
2017	2017年度				
前回計画	利益率				
4,450					
2,009					
1,600					
628					
213					
485	10.9%				
347	17.3%				
153	9.6%				
6	1.0%				
▲ 6	▲2.6 %				
▲1 6	-				
480	10.8%				
320	7.2%				

[注.1] 2017年度予想値〈参考値〉は、対象期間を従前の決算期間(2017年3月21日〜2018年3月20日)に置き換えた数値 (詳細は巻末_参考資料P.18を参照)

[注.2] 表内「2017年度 前回予想」は、2017年7月20日 1Q決算発表時の数値

営業利益増減要因分析(2016年度 → 2017年度 計画)

(単位:億円)



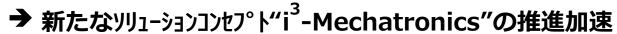
2017年度下期における取り組み

> コア事業の収益力強化

- → 新製品の販売強化
 - ・ロボット新製品(GPシリーズ,MotoMINI) の販売加速
- → ロボティクスソリューションの提案強化
 - ・事業を横断したカスタマ攻略による売上拡大



- → 安川ソリューションファクトリの設立準備 (18年6月予定)
 - ・生産性のさらなる向上を実現する革新的な生産システムの構築



- ・新たな付加価値の創出に向けた開発・販売体制の構築
- ・アライアンスを活用したIoT・AIなどの開発強化



- → 奇瑞安川におけるEV用電機品の量産開始 (18年1月予定)
- → 太陽光発電用のグローバル規格対応製品の市場投入
- ▶ 新規ビジネスへの取り組み加速
 - → 野菜生産システムと中食市場の自動化への本格参入



安川ソリューションファクトリ完成予想図

装置内へ組み込み可能な 業界最小・最軽量「MotoMINI」



サント゛イッチ番重詰めロボット

3. 参考資料

決算期変更による影響額(下期、通期)

・2017年度より決算期を『3月20日』から『2月末日』に変更による影響額は下記の通り

			決算期変更前	Ī
201	 7年度 見通し	上期	下期	通期
	(単位:億円)	実績	計画	計画
売上		2,291	2,369	4,660
(M)	モーションコントロール	1,104	1,030	2,134
(R)	ロボット	804	878	1,683
(S)	システムエンジニアリング	282	343	625
	その他	101	118	219
営業利益		278	292	570
(M)	モーションコントロール	218	196	414
(R)	ロボット	86	102	187
(S)	システムエンジニアリング	▲ 18	4	1 4
	その他	1	▲ 2	▲ 3
	消去または全社	▲ 7	▲ 7	▲ 15
経常	経常利益		295	570
親会	社に帰属する当期純利益	211	199	410

j	決算期変更後				
下期	通期	差違			
計画	計画	左连			
2,209	4,500	▲ 160			
998	2,102	▲ 31			
844	1,648	▲ 35			
260	541	▲ 84			
108	209	1 0			
262	540	▲ 30			
191	408	A 5			
95	180	▲ 7			
▲ 13	▲ 31	▲ 17			
▲ 3	▲ 3	1			
▲ 8	▲ 15	▲ 0			
265	540	▲ 30			
179	390	▲ 20			

セグメント変更による過年度遡及(2016年度実績)

・2017年度より、従来(M)に含めていた太陽光発電用パワーコンディショナを (S)に移すなどの**セグメント区分を見直し**

			2016年度(セグメント変更後)					変更	
	(単位:億円)	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期	影響額 通期
売上高	(1 1 1 1 1 1 1 1 1	904	973	1,876	970	1,102	2,072	3,949	-
(M)	モーションコントロール	408	424	832	425	463	888	1,720	▲113
(R)	ロボット	324	360	684	337	379	716	1,400	_
(S)	システムエンジニアリング	117	130	247	155	192	347	594	+112
	その他	55	59	114	54	68	122	235	+1
営業利	益	55	84	138	78	88	166	304	-
(M)	モーションコントロール	46	62	108	61	59	120	228	+20
(R)	ロボット	22	34	56	23	23	47	103	-
(S)	システムエンジニアリング	▲ 9	▲ 7	▲ 16	A 1	11	10	▲ 6	▲1 5
	その他	▲ 2	▲ 2	▲ 4	A 1	▲ 2	▲ 3	▲ 7	▲ 5
	消去または全社	▲ 3	▲ 2	▲ 6	▲ 4	4	▲ 7	A 13	_

設備投資、研究開発費、為替状況

◆設備投資の状況

(単位:億円)

	2015年度実績	2016度実績	2017度計画
設備投資額	167.6	149.1	200.0
減価償却費	130.6	120.8	130.0

◆研究開発投資の状況

(単位:億円)

	2015年度実績	2016度実績	2017度計画
研究開発投資	168.2	179.8	180.0

◆為替状況

(円)

	2	015年度実	績	2	016年度実	績	2017年度想定			
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期 (実績)	下期	通期	
対 米ドル	121.9	119.8	120.8	107.1	109.6	108.4	111.5	110.0	110.7	
対 ユーロ	134.3	131.8	133.0	120.0	118.4	119.2	124.4	130.0	127.2	

^{※1.} 為替レートについては、期中平均レートを記載

B/S構造の推移

2017年3月20日時点

自己資本比率 51.2% ▶自己資本 1,985億円 有利子負債 368億円 D/Eレシオ 0.19 (ネットD/Eレシオ) 0.04 799億円 (回転月数) (2.4ヶ月) 10.7% ROE

2017年9月20日時点

- > 自己資本比率 52.1% ▶自己資本 2,204億円 有利子負債 359億円 ▶ D/Eレシオ 0.16 (ネットD/Eレシオ) 0.00 ■棚卸資産 930億円 (回転月数) (2.4ヶ月)
- ※ 有利子負債は新株予約券付社債及びリース債務を含む
- ※ 棚卸資産回転月数の計算には棚卸資産の期末値を使用



2007年3月 2008年3月 2009年3月 2010年3月 2011年3月 2012年3月 2013年3月 2014年3月 2015年3月 2016年3月 2017年3月 2017年9月

営業CF	150	177	125	40	25	64	246	240	290	320	338	196
投資CF	▲61	▲99	▲ 107	▲ 65	▲ 67	▲ 119	▲ 181	▲ 169	▲279	▲ 224	▲ 189	▲ 88
フリーCF	89	78	18	▲ 24	▲ 43	▲ 55	66	70	11	95	148	108

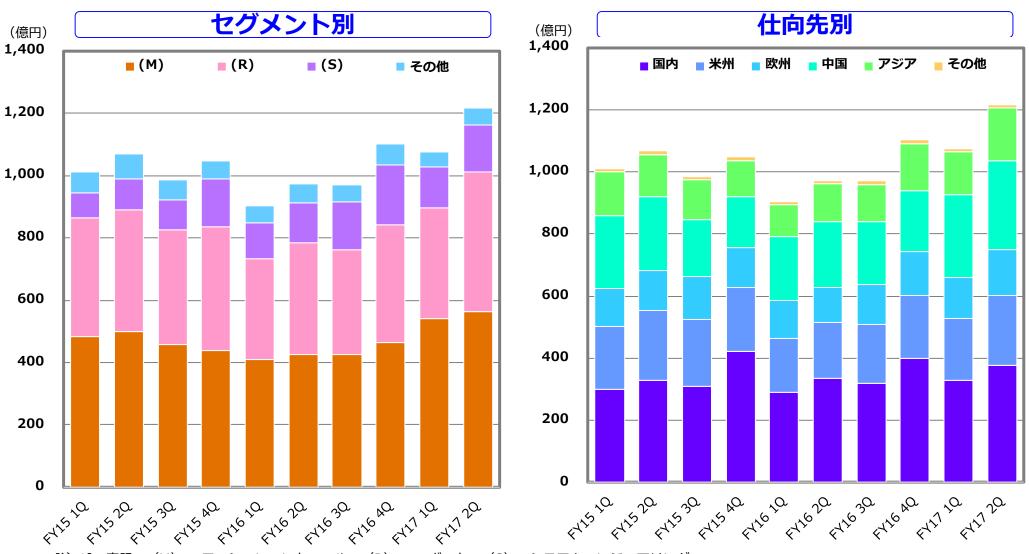
(億円)

連結売上高・営業利益推移(2006年度~2018年度計画)

• 中期経営計画「Dash 25」の目標を1年前倒しで実現する見通し



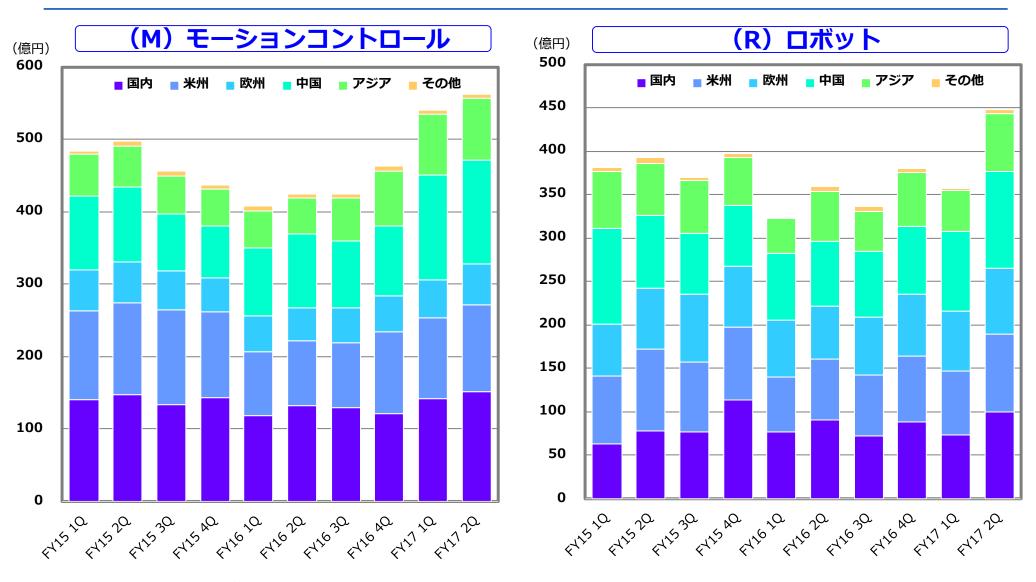
四半期連結売上高推移



[注.1] 表記: (M) = モーションコントロール、 (R) = ロボット、 (S) = システムエンジニアリング

[注.2] FY2015の数値は、セグメント区分見直し前の数値を使用

四半期連結売上高推移



[注] FY2015の数値は、セグメント区分見直し前の数値を使用

四半期連結受注推移

※為替は期中平均レートを使用

億円)	1,400											
	1,200											その他
1,000											_	
	800											
	600											
	400				-		_					(R)
	200											(M)
	0 -											(14)
FY2015						FY2	FY2017					
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	
全社	YoY	+8%	+6%	+1%	▲17%	▲1 %	▲8 %	▲2 %	+13%	+8%	+29%	
土紅	QoQ	▲1 %	▲ 6%	+3%	▲14%	+18%	▲13%	+10%	▲1%	+13%	+4%]
	(M)	+3%	+5%	▲8 %	▲12%	▲12%	▲12%	+5%	+17%	+39%	+31%]
YoY	(R)	+17%	+18%	+1%	▲14%	▲9 %	▲11%	+5%	+7%	+14%	+31%	
	(S)	+23%	+3%	+40%	▲37%	+106%	+31%	▲24%	+43%	▲ 59%	+33%]
	(M)	+3%	▲ 4%	▲ 9%	▲2%	+3%	▲ 4%	+8%	+9%	+23%	▲10%	7
QoQ	(R)	+6%	▲8 %	▲ 4%	▲7 %	+12%	▲11%	+13%	▲5 %	+19%	+2%]
	(S)	▲28%	+5%	+96%	▲57%	+134%	▲33%	+14%	▲20%	▲33%	+118%	
為替	円/ドル	120.2	123.5	121.0	118.5	110.8	103.5	104.8	114.5	111.9	111.1	
レート	円/ユーロ	131.2	137.4	133.9	129.7	124.5	115.6	115.3	121.5	120.9	127.9	

[注.1] 表記: (M) = モーションコントロール、 (R) = ロボット、 (S) =システムエンジニアリング

--「注.2」 FY2015の数値は、セグメント区分見直し前の数値を使用

主要生産拠点



COLUMN TO THE PROPERTY OF THE



安川電機(瀋陽)有限公司 中国

YASKAWA Nordic AB YASKAWA Electric UK Ltd.

スコットランド

スウェーデン

安川首鋼味"ット有限公司

YASKAWA Europe Robotics d.o.o.



YASKAWA Europe GmbH Robotics 部門

ドイツ



機器人有限公司 安川(中国) 中国

YASKAWA India Private Ltd. インド

インド



上海安川電動機器有限公司



安川電機

【国内生産拠点】

- ·八幡西事業所(安川ロボットセンタ)シ
- ·八幡東事業所
- ・行橋事業所(ドライブセンタ/ システムエンシ゛ニアリンク゛センタ)
- 入間事業所(ソリューションセンタ)
- ・中間工場



Tomandities and the

Drives&Motion 部門

アメリカ

YASKAWA Motoman Mexico, S.A. de C.V. メキシコ

- 安川電機 国内生産拠点
- 海外主要生産拠点



YASKAWA Motoman Canada, Ltd. カナダ



YASKAWA America, Inc. Motoman Robotics 部門



ブラジル

YASKAWA